

市民後見人No.81

(旧「市民後見人・品川」会報、通巻No.91)

発行／特定非営利活動法人 市民後見人の会
〒140-0003 東京都品川区八潮5-9-11 区民活動交流施設「こみにゆていぷらざ八潮」協働推進室内
TEL：03-5492-7448 (通話専用です／当面、月曜日の10-16時の間対応します)
FAX：03-5492-7458 (ファックス専用です／24時間対応 できます)
MAIL：npokouken@gmail.com URL：<http://www.shiminkoukenninokai.jp>

7月19・20日

■八潮祭りに来ませんか■

7月19日(土)と20日(日)の両日、品川区八潮地区の第31回八潮祭り(区民祭り)が八潮団地内の多目的広場で開催されます。

本会は、同地区に事務所を開設して以来、協働推進室の一員として同祭りに参加しています。今年も、安齋實理事を中心にビデオ上映グループの会員が準備を進めています。

開催時間は、19日が15時-20時半、20日が13時-20時45分です。

例年、住民によるダンスや太鼓などのイベントや模擬店があり、多数の人で賑わい、最終日は花火も予定されています。

会場内に、同推進室のテントもあり当会会員も詰めていますのでお立ち寄りください。また、テントに詰めてみたいという会員は、事前に事務局にご連絡ください。

■認知症をもっと知りたい■

「私たちはもっと、認知症のことを知るべきではないか」、先日、事務所である会員がこんなことを話されました。

本会は、成年後見制度を利用できる人の中でも、「認知症高齢者のお役にたちたい」ことを目的に結成されたのですから、極めて正論です。市民後見人養成講座の中で認知症の事に触れた時間は短く、内容も基礎の基礎だったと思います。このほか、施設見学をした際に職員からこの病気の事を質問したり、「認知症サポーター養成講座」の一環として学んだこともあります。会としてもっと勉強する機会を設ける必要があると考えます。

家族に認知症患者がいる人・いない人、介護経験のある人・ない人などによりこの病気に対する理解の仕方が異なるので、認知症の「何」をテーマにするか絞りにくい側面もあります。専門医を招いて後見活動を進める過程で会員が悩んでいること・感じていることなどを自由に質問し、話を伺う形の勉強会もあっていいので、事務局や理事会で検討します。

なお、私の手元に▽「認知症30カ条」(認知症予防財団編・岩波ブックレット)▽「忘れても、しあわせ」(小菅もと子・角川文庫)▽「認知症と診断されたあなたへ」(小澤勲、黒川由紀子編著・医学書院)▽「認知症を正しく理解するために」(長谷川和夫著・マイライフ社)など、関連本が何冊もあるので知識を増やしたい方はご連絡ください。お貸します。

■映画「毎日がアルツハイマー2」を公開■

2012年に映画監督の関口祐加さんが、認知症の母との生活をドキュメンタリー映画にして公開、話題となりましたが、その続編が完成し、7月19日(土)から中野区内の映画館「ポレポレ東中野」で公開されます。

前作は「この映画を観るだけで、教科書を何冊読んでも分からない認知症の世界が分かります」と専門医が評した作品。2作目は、関口監督が、「パーソン・センタード・ケア」(認知症の人を一人の“人”として尊重し、その人の視点や立場に立って理解し、ケアを行おうとする認知症ケアの考え方)を学ぶため発祥の地・英国へ飛ぶ物語とか…。本だけでなく映画からも、後見人活動に有効な何かを学ぶことができるかもしれません。興味ある人は出かけてみてはいかがでしょうか。

(文責・古賀)